

長時間労働は正へ要望書 国交・厚労両省に来月提出

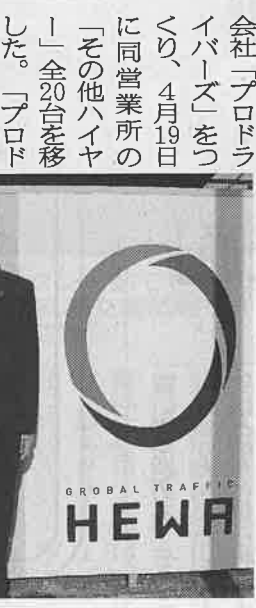
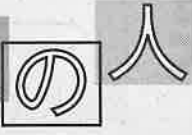
ロケバス協会(水田久成)は9年度定時社員総会を開いた。理事長は「すくす百貨社」の関係強化、稼働台数調査に對し、運転者の長時間労働目黒区民センターで2019年度新事業計画・予算を決

チェッカーの異端児、新市場開拓に全力

平和自動車交通常務 杉田 宏明 さん(58)

「今までタクシーを利用し、大手ゼネコンで海外勤務の経験がある。最近では海外渡航者向けWiFiルーターレンタルの導入も同じ観点だ」と強調。チェッカーが参画する「みんなのタクシー」に對し、「基本的に賛成。契約内容などに納得できれば採用したい」とのスタンス。「20台から100台体制に広げ、営業拠点も増やしていく」と張り切る。

練馬営業所と同じ住所に新会社「プロドラ」を4月19日に同営業所の「その他ハイヤー」に全20台を移した。「プロドラの仕事はメー



来月中にも国土交通省と厚生労働省あてに要望書を提出したい考えを示した。「会員全員が何を望んでいるか、考え方を統一して訴えたい」と話した。



完成した協会パンフレットを手にする水田理事長(左)と、山田公博副理事長(14日、東京・目黒)

同協会はコマニシャル、映画などの野外撮影に使うロケバスの運行事業者で組織し、設立して10年が経過した。

水田理事長は会員数の増加も図りたい意向で、「ロケバス事業者は全国で100社ほどある。協会の規模は最大で、現在の倍になる可能性がある。入会メリットを打ち出し、会の動向の見える化を進めてい

かなくは」と話した。

2019年春の褒章受章者が20日発表され、国土交通省関係では、埼玉の個人タクシー事業者の下平忠男さん(さいたま市)、鈴木和子さん(草加市)の2人が黄綬褒章を受章する。計49人(藍綬1、黄綬46、緑綬2)・7団体で、自動車局の推薦は3人(タクシー2、整備1)。

春の褒章 個人タク2人に栄誉

経済産業省関係の春の褒章では、トヨタ自動車の佐々木真一・元副社長が藍綬褒章に選ばれた。伝達式は30日、東京・霞が関の同省講堂で行われる。

謝礼型助け合い輸送 介護予防などテーマ

全国移動ネットが講演会



服部真治氏

「移動サービスを取り巻く情勢の変化と明日を読む」。常生活支援総合事業の実施状況と評価、政策動向/講師/厚生労働省老健局振興課長補佐・櫻井宏充氏

活動のPRを目的に案内パンフレット(A4判8ページ、4色刷り)を制作した。などに配った。

れる。自動車整備業からの受章は早川自動車(名古屋市の自動車検査員、早川裕司さん。▼8面に関連記事トヨタ元副社長が藍綬受章 経産省関係